

五井地区町会長会報告他

平素は町会活動にご理解・ご協力いただき厚く御礼申し上げます。
さて、市原市町会長会の活動状況について以下の通り報告いたします。

① 市長と町会長との未来創生ミーティング「今年度のテーマ」について

今年度の未来創生ミーティングが開始されます。五井地区は10月27日（日）に予定されており、テーマは「高齢化に伴う移動困難者対策について」と昨年が続いての内容となっています。

一方、その他地区のテーマを見ますと「高齢化」「町会役員の担い手不足」「町会員の減少」といった共通の課題があるように思います。未来創生ミーティングの結果については、別途報告するとともにその他地区については市原市のHPに掲載されますので注目してください。

【別紙1】令和6年度 市長と町会長で語ろう未来創生ミーティング 各地区テーマ等		令和6年8月22日 理事会 市民生活部 地域連携推進課
【姉崎】 地域活動における高齢者の役割が増加し限界を迎える		
テーマ設定理由 ●町会役員の高齢化に伴い、町会運営に支障をきたす問題（役員の担い手不足、活動減に伴う近所関係の希薄化）が生じているため。	質問 ●町会高齢化により対応困難となっている遊歩行動要支援者の遊歩誘導や要支援者予備軍への対応等について	
【市原】 超高齢化、少子化における課題点について		
①生活における移動手段について（移動困難者対策） ②少子化における学校運営について		
テーマ設定理由 ●高齢化・少子化問題への対策を検討すべきと考えたため。 ●子供の成長を地域で支える住民意識の一体化をはかるため。など	質問 ●デマンドタクシーの実績・課題 ●コミュニティスクール導入の狙い ●交通空白地の対策等について	
【五井】 高齢化に伴う移動困難者対策について		
テーマ設定理由 ●免許返納等により、病院や買い物に行くことが出来なくなる高齢者が増えているため。など	質問 ●交通手段の確保等について	
【三和】 高齢者支援		
テーマ設定理由 ●社会情勢の変化に伴い、高齢者の日常生活に支障が生じているため。など	質問 ●高齢者支援活動の担い手不足について ●デマンドタクシーに対する今後の展望等について	
【市津】 いつでもだれでも町会長、自治会長ができるシステム作りへの提案～		
テーマ設定理由 ●高齢化に伴う町会長の担い手不足等、多くの町会で苦勞をしている町会運営事務について、現状を改善するため。	質問 ●地区全体での町会運営のマネジメント化 ●専従の事務を雇用することへの支援等について	
【辰巳台】 新しい辰巳台地区の形成		
テーマ設定理由 ●道路事情や防災面にて不安が伴うようになった辰巳台地区にて、地域と行政が一体となった取組を行うため。	質問 ●住宅地での交通安全に係る地域取組 ●グリーンスローモビリティの導入等について	
【南総】 生活環境の整備について		
テーマ設定理由 ●地域の活力が低下し、町会が取り組んできた生活環境の整備や地域の助け合いが難しくなってきたため。	質問 ●有害鳥獣への対応及び今後の対策 ●地域防災体制等について	
【加茂】 10年後の加茂地区のあり方		
テーマ設定理由 ●少子高齢化や人口減少を抑えるための地区の実情に沿った施策が必要であるため。 ●地域住民の安心・幸福な暮らしの実現のため。	質問 ●有害鳥獣対策 ●災害時の対応 ●観光資源の有効活用等について	
【有秋】 ①交通にかかる身近な問題について②若い世代が引越してくる街づくりについて		
テーマ設定理由 ●交通環境整備問題の解決に向けた認識を新たにするため。 ●少子高齢化の進行対策に係る認識を深めるため。	質問 ●市道整備等、地域と行政の連携 ●インフラ整備済地への人口誘導等について	
【ちはら台】 未来志向でつなげる住民主体のまちづくり		
テーマ設定理由 ●今後数年間で大きな転換期を迎えるちはら台地区にて、未来志向でつなげる住民主体による地域の将来像を検討するべきであると考えたため。	質問 ●自治会が果たす役割、自治会がメリットを 実感できる官民協力体制の構築 ●交通インフラの整備・見直し等について	
【国分寺台】 地域の防災力向上と避難所環境の改善について		
テーマ設定理由 ●市と協議し、協力し合うことでより住みやすいまちづくりを進めるべく、「みんなが輝く未来を みんなで創る」を旗印に対話をするため。	質問 ●有事のスタンドバイ活用や設置訓練 ●避難所でのプライバシー保護、ごみ処理 ●街路樹の開引き・剪定・植え替え等について	
【千種】 高齢者社会における地域コミュニティを支える町会活動のあり方		
テーマ設定理由 ●町会員数が減少しており、これまでの町会活動を維持することが難しくなってきたため。	質問 ●町会未加入者に対する市の取り組み等について	

② 内水氾濫について

五井西地区は、養老川沿いに位置している関係でこれまでは「河川の氾濫」という点に注目していました。最近のゲリラ豪雨等の頻発化により、「内水氾濫」についても注目しなければならない状況になってきました。

内水氾濫とは、下水道や排水路などの排水施設の能力を超える雨が降った場合や、雨水の排水先の河川水位が高くなった場合に雨水が排水できずに浸水する現象です。市原市の下水道は、分流式と呼ばれる雨水と汚水が別々の管で排水される方式です。雨水は

海や河川にそのまま放流され、汚水は処理施設で適正な水質に処理されたのちに海や河川に放流されます。五井西地区の雨水は、雨水管により松ヶ島ポンプ場に大型管渠で排水され貯留槽に貯められたのちポンプで東京湾に放流されます。貯留槽の水位により自動的に排水ポンプが稼働し放流するシステム

になっているとのことです。

そもそも、道路や側溝・下水道管等の雨水排水設備は**時間 50mm**の降雨量で計画されているため 最近の豪雨時雨量（例えば7月21日の時間69mmや9月3日の時間89mm）では冠水してもやむを得ない状況と考えます。

排水設備の増強は簡単にはできませんが、例えば潮見通りの街渠排水についてはメンテナンスできる排水口を増設したり、ドンホーテ側から6丁目10番地に至る道路部に横断側溝を付ける等のできるのところから実施してほしい旨要望しました。

また、地道にできることとしては、側溝の土砂だまりを清掃することや道路街渠排水口の閉塞を解除して排水を円滑にすることぐらいかと思います。これについては、一斉清掃時に実施する等検討して皆さんの協力を得て進めていきたいと考えます。

以上

※広報いちはら9月号に下水道について記載されていますので、参考としてください。

五井西町会

会長 阿部 昌明

2024. No3